

2019年8月30日

www.regulations.gov 経由で提出

Re: Toxic Substances Control Act (TSCA) リスク評価・TSCA Science Advisory Committee on Chemicals (SACC) 会議案; 1-Bromopropane; Docket ID: EPA-HQ-OPPT-20190235.

はじめに

Albemarle Corporation は特殊化学物質の世界的なメーカーであり、その製品ラインには当社のポートフォリオの重要な部分として 1-ブロモプロパンが含まれています。

アルベマール(株)は、メーカーとして、また当社製品の主要な専門家および主要なユーザーと協力して、1-ブロモプロパンに関する相当な専門知識を開発しています。

Albemarle Corporation は、米国環境保護に関するコメントを提供することを喜んでいますが、化学物質規制法(TSCA)科学諮問委員会(SACC)ピアレビュー委員会会議に先立って、また検討のために、1-ブロモプロパン(1-BP)の EPA または庁(EPA または庁)のリスク評価案が 2019年9月10-12日に開催される。

1-ブロモプロパンの EPA/OPPT 作業計画リスク評価のピアレビュー電荷質問案で強調された質問に特化した、最近の 1-ブロモプロパンの米国 EPA ドラフトリスク評価に関する記録に入力するコメントとして、以下の考察ポイントおよび関連する囲み記事を検討してください。

1. 最近、Dr. Bruce Ames が Toxicology and Research Application の次の特別版で発表される予定の簡単な記事を執筆した。

本稿では、ラットおよびマウスにおける化学物質の発がん性を慢性バイオアッセイで試験するための現在のプロトコルに固有の高い偽陽性率の一般的問題について述べる。

a. 囲み込み 1 - Dr. Bruce Ames の記事(ファイル: Dr.BruceAmesPreface.pdf)。

2. アルベマールは、ヒト肺病理学の外部専門家と協力して、ヒトにおける潜在的な肺腫瘍形成能の予測に向けて、マウスにおける肺腫瘍の適用性を評価している。

著者らの見解では、最近発表された査読済み論文において、マウス肺腫瘍は、広範な文献に基づいてヒトで予想されるよりもはるかに高い化学発がんに対する感受性レベルを表している。

a. エンクロージャー 2 - 問題の要約(ファイル: CommentEPADraftRiskAssessment.pdf)

b. 同封書 3 - 対応する査読済み論文(ファイル: MouseLungTumorPaper.pdf)

c. エンクロージャー 4 - 対応する補足資料 (File: MouseLungTumorPaperSupplementalMaterials.pdf)

3. Albemarle は、さらに重要な問題、すなわち換気と個人用保護具の潜在的な役割についてもコメントしたい。

アルベマールは、1日16時間走る2本の背部蒸気脱脂機を採用した航空宇宙配線組立工場で、職業曝露試験を実施した。

この高換気環境では、機械操作者でも検出レベル以下(<0.2ppm)の曝露レベルが認められた。この組立設備の換気レベルは市場の最上位にあったが、これらの結果は、個人用保護具の適切な使用と併せた換気が、1-ブロモプロパンまたは他の化学物質への曝露を減らす顕著な効果を発揮するために使用高ことを実証している。

a. エンクロージャー5 - 内部職業曝露研究(ファイル: ALBInternalStudy1BPEXposure 6-26-18.pdf)

Albemarle は、1-ブロモプロパンのリスク評価草案のための SACC ピアレビュープロセスに先立ってコメントを提供する機会を得たことに感謝し、リスク評価プロセスを進めるにつれて、当局と引き続き協力していきたいと考えている。

質問がある場合、または SACC に詳細な説明文書を提供できる場合は、bob.miller@albemarle.com または 980.299.5628 にお問い合わせください。

敬具

アルベマール(株)

Bob Miller, Jr.

Global Product Stewardship 部長

bob.miller@albemarle.com